熱傷診療ガイドライン（第 3 版）
エビデンスレベルと推奨度

エビデンスレベルと推奨度は熱傷診療ガイドライン（第 2 版）および形成外科診療ガイドラインに準じて以下のように決める。

エビデンスレベル

Ⅰ：システマティックレビューまたは無作為対照化試験（RCT)のメタアナリシス

Ⅱ：1 つ以上の RCT

Ⅲ：非ランダム化比較試験（今回は該当する CQ はありません。）

Ⅳ：分析疫学的研究（コホート研究、症例対照研究、横断研究）
（今回は該当する CQ はありません。）

Ⅴ：記述研究（症例報告や症例集積研究）（今回は該当する CQ はありません。）

Ⅵ：専門委員会の報告や意見、あるいは有識者の臨床経験

推奨度

推奨度の決定は①エビデンスレベル、②介入による益と害のバランス、③医療コスト、④実行可能性、⑤関係者の価値観を考慮して決定する。

推奨度 A：強い根拠があり、行う/行わないことを強く勧める。
（少なくとも 1 つの有効性を示すエビデンスレベルⅠまたは良質のエビデンスレベルⅡのエビデンスがある。）
推奨文の書き方；○○を行う/行わないことを強く推奨する。

推奨度 B：根拠があり、行う/行わないことを勧める。
（少なくとも 1 つ以上の有効性を示す質の劣るエビデンスレベルⅡか良質のエビデンスレベルⅢあるいは非常に良質なエビデンスレベルⅣのエビデンスがある。）
推奨文の書き方；○○を行う/行わないことを弱く推奨する。

推奨度 C：根拠はないが、行う/行わないことを勧める。
（質の劣るエビデンスレベルⅢ～Ⅳ、良質な複数のエビデンスレベルⅤの研究。あるいはエビデンスレベルⅥに該当するもの。）
推奨文の書き方；○○を行う/行わないことを推奨する。

推奨度 D：エビデンスレベルがⅥでも標準治療として定着しており、行う/行わないことを強く勧める。
推奨文の書き方；○○を行う/行わないことを強く推奨する。

薬事未承認の医薬品、保険適応外もしくはその可能性があるものには（＊）を付記する。